

# 波紋

# 11

## 森松野球部念願の勝利

### 野球部勝利

野球部発足後何年になりますか  
何試合やりましたか・・・おかげさまでやっと勝つことが出来ました。しかも二連勝です。いつも部長に嫌味を言われてましたのでうれしいです。何故勝つことが出来なかったかを反省しますと

- ① 練習不足
  - ② チームワークの無さ
  - ③ 戦略戦術の無さ
- そして何よりも、皆で勝ちました。ようという意欲の無さでした。これでは到底勝つどころか試合になりません。一回勝つことにより二回連続勝てました。ズーッと勝ち放しは無理ですが内容のある次の試合に結びつけられる様にガンバリます。皆さんの応援を感謝して、来シーズンもご協力ください。

野球部一同

「やる気があるのか」「悔しければ勝ってみろ」と言われ続けた森松野球部、が二連勝という大記録をなしとげました。選手一同が「勝利」という目標に一丸となってたち向かったその気迫はすさまじいものでした。一致団結しそれを克服しようとする意気込みこそが、何かにつけ大切だと痛感させられました。○連敗という誇らしい？記録を保持してきた森松野球部でも「勝利」と言うおいしい味をかみ締めることが出来たのですから・・・

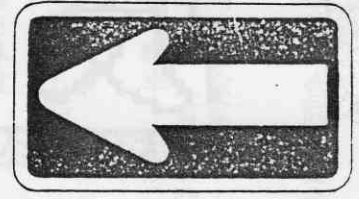
伊東郁二



!!

六又 差左 点

「会社は倒産するもの？」  
我が社の身近なところで会社倒産が起き始めました。九月・十月の二ヵ月間で二軒あり、幸いにも軽傷で済んでいます。その他以前取り引きのあった会社が、さらに二軒倒産しました。世の中が不景気だと言う事が良く分かります。しかし倒産原因を調べてみますと、よく言われている円高が原因ではありません。単なる放漫経営経営姿勢の悪さから倒産しているのです。それらの会社的事を思い出してみると、社内が「あまえの体質」で「きびしさ」が会社の中にありませんでした。私も日頃皆さんに注意や小言をやらかましく言っています。全体があまくなると会社はダメになり倒産へ向かって歩き始めます。会社も生きもので倒産しない会社は絶対ありません。お互い自分に厳しく行動し、上司また取引先からの忠告・苦言は素直な気持ちで耳をかたむけましょう。素直な気持ちになれない人は石頭の老人だと思えますが、あなたはどうか思えますか？ 森 信之



森松に入社して十六年になる。あつと  
いう間に過ぎた感じである。その間に継  
続してやれたことは、酒を飲み続けた事  
位であり、随分もったいない時間を過ご  
してきたみたいだ。  
仕事に關しても一生懸命やった事はいい  
が、頭の固さは直っていないみたいだ。  
頭の中に可塑性でもいれて、こねくり回  
そうかな。今からでも遅くないので、努  
力してみようと思う。色々な人とお付き  
合ひをして教えてもらうのも方法。スポ  
ーツもひとつの方法。本を読むのも、勿  
論いっぱい飲むのも（これは自信がある）  
毎日毎日が有意義に過ごせるにはやはり  
努力が必要であるってことかな。  
皆も振り返ってみるといい（少しだけ）  
それから前を向き、やることを決めて実  
行すべきだ。  
全ての人の時間は公平に与えられている。  
僕がすぐやることは、可塑性を購入する  
事である。

木村英利

△暮らしのエッセイ▽

僕達新人類と  
言われていますが、

新人類という言葉が流行っていますが、一  
般的に昭和三十年代後半に生まれた人間を  
言うようですが、私もその一人になります。  
私達は、いずれ家庭を持ち、親となり、又、  
社会を動かす時代が来るでしょう。それを  
考えるだけでゾッとします。旧人類の人間  
も多いいと思います。それは、私達は日頃一  
最近の若い者は・・・で始まり、何を考  
えているかわからない。言葉使いを知らな  
い。常識が無い。気配りが足らない。努力  
をいやがる。わがまま・・・等々、沢山  
あります。何故この様に言われるのでしょ  
うか？それは、親のしつけもありませんが、  
旧人類の人間に比べ私達が育った環境の違  
いの差だと思えます。  
高度成長の中、物資、食物に不自由なく、  
幼少の頃には家にカラーテレビがありまし  
た。かぶと虫などは、お金で買った事もあ  
ります。この様な時代に育った私達が、す  
でに社会に出て働いているのですから、会  
社の上司の方々は、私達を教育する事はと  
ても難しいと思えます。旧人類の人間が、  
体験、教わった事を、そのまま伝えたので  
は、なかなか理解してもらえません。「ど  
うしてこんな事が分らないのか？」と  
頭を悩ます人も多いと思えます。しかし、  
私達も素直な心、夢を持っています。です  
から「最近の若い者は」と簡単に言わず、  
じっくり教育してほしいと思えますが、  
でも、こんな事を言っている事自体が旧人  
類の人間から見れば既に甘いのでしょうか。  
いづれ私達も年をとりますが、何年か先  
には今と同じ様に「最近の若い者は・・・」と  
口にする日が来るでしょうか？ 安井浩二

# 森松創立三〇周年記念

## 家族忘年会

今年には森松の創立三〇周年という、  
意義ある年であります。毎年恒例となり  
ました家族同伴の忘年会も、第六回目を  
迎えます。三〇周年を記念した有意義  
な会にしたいと思っております。

日時 十一月二日 日曜日

午前七時三十分開会  
午後二時三十分閉会

場所 華寿殿（中区錦）

六階 有明の間

電話 九七一―二七一―

\*社員の方は現地集合  
\*パートの方は十時三十分会社へ集合  
して下さい。

今年には若手のメンバが、いろいろな企  
画考えてくれるそうで、前回より一層楽  
しい会になると思えます。  
皆様御忙しいとは思いますが、揃って御  
出席下さる様、宜しく御願います。

忘年会実行委員会

いい女は話し上手

(酒井広著)

私たちは毎朝自分の顔を鏡に写して見ています。女性ならば出勤前に朝食をとらない事があっても鏡の前での化粧をかかす事はまずないからです。ですから自分の顔は世界で一番よく知っていると思ひ込んでいます。

しかし、いつも見ている自分の顔は、たいして取り澄ました表情をしています。仕事をしている時、友人と話をしている時、上司と話をしている時、家の中で家族といるとき、私たちの表情は刻々と変化しています。ですから普段自分がどんな顔をしているのかは、案外と自分が一番知らないものだといふ事です。この様に普段の自分の表情を最も知らないのが自分自身なのですが、「話し方」について同じ事が言えると思ひます。

近頃の若い人たちはあいさつもろくに出来ないとよく言われます。「ありがとうございます」のひと言が言えないと言ふのです。スピーチにしてもそうです。学生時代大勢の前で話す機会がほとんどなかった為、どうしても人前で話さずという事に慣れていません。ですからどうして早く口になつたりしてしまします。話し終わつてから人に言われて気が付くという事が多数あります。ですから自分が一番良く知っているつもりでも一番知らないのが当たり前です。それを早く見付けられるかが問題なのです。私も早く自分が知らない面を早く探して見付ける様に常に意識したいと思ひます。

富田美千代



「松下幸之助の

人づくり

」(松下幸之助著)

先ず、この本を読んで印象に残つたのは、「松下電器は何を作るか」とたずねられたならば「松下電器は人を作るところでございます。併せて電気商品を作っております」と申せと松下氏は社員に言つたところと申す。それほど松下氏は人材育成に力を入れているといふことです。その人材育成が企業にとってどれほど重要であるか、そして、その人材育成に成功した企業は必ず成功するといふことです。

森松も勉強会などで人材が育つていけば、森松の繁栄疑いなしですわね!

岩間正美

マコのものしりコーナー

リュックサックと  
デイバック

ヨーロッパ生まれのリュックサックと  
アメリカ生まれのデイバック

学生がバッグ代わりに街で背負っているのがデイバックです。洋梨形のスタイルの小型のリュックサックで、口はファスナーで開閉するようになっています。

デイバックの名の由来は、日掃りのハイキング用の装備がちょうど収まるくらい大きさに作られているところからきています。

最初はアメリカで使われはじめたもので、一〇年ほど前から日本にももちこまれ、学生を中心にあつというまに普及しました。

一方、リュックサックはもともとはドイツ語からきた言葉で、ヨーロッパ系の登山用具です。縦長のもの、横長のもの、サイドポケットがついているもの、いないものといろいろなスタイルがありますが、現在、もっとも多く使われているのは、アタックザックと呼ばれる縦長でサイドポケットがなく、雨ぶたのついたタイプのもので、ヨーロッパアルプスの登山に適するようにデザインされています。

デイバックもリュックサックの一種には違いないのですが、少しばかり古臭い語感をもつリュックサックという言葉は、デイバックのライトな現代感覚とはどうもそぐわないようです。「デイバックだって?なんだリュックサックのことじゃないか」などといつてしまうと、若者からオジン、オバン扱いされてしまうかもしれません。

今月の社内行事

一日 営業・事務・合同連絡会議

二日 森松(株)

三〇周年記念家族パーティー  
華寿殿六F(有明の間)にて  
午前十一時半〜午後二時半

七日 英会話教室

午後七時〜八時半

八日 第二土曜日休業

十四日 英会話教室

午後七時〜八時半

二二日 英会話教室

午後七時〜八時半

二八日 英会話教室

午後七時〜八時半

二九日 若手親の会

椿大社にて...



☆行ってみたいお店☆

M A · M A I S O N  
(マ・メゾン)

場所は星ヶ丘少し手前の両口屋の裏に  
あります。

しゃれたフランス風の民家の感じ、中も  
普通の民家をほとんどそのままに。

そして何よりも素敵なのが、それは沢山  
のアンティークな品々が、所狭しと置い  
てあり、それがとても落ちていた雰囲気  
を作っているのです。

メニューは多彩なフランス、イタリアの  
家庭料理、とてもおいしいです。

パンはフランスパンが焼きたての感じで  
とてもおいしい。

ドリンク類は多種にわたり、ワインは勿  
論沢山揃えてあります。

そろそろ今年もワインの新種が飲める季  
節になってきました。

ちよつとリッチな気分を御出掛け下さい。  
午前十一時半〜午後十一時位まで営業、  
土日の夕方は少し待つ位で御出掛け下  
さい。

M A S A K O H.

十一月生まれの人

家族 横山礼子

社内 昭和二五年十一月二三日

稲葉友昭

昭和二三年十一月二五日

鈴木とも子

昭和 六年十一月十七日

岩間正美

昭和三四年十一月十五日

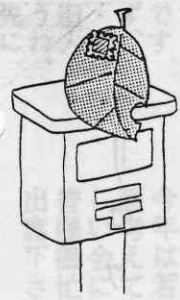
いゝ誕生日の紹介

恒欄佳未依依記

木の葉が落ち始め、風景は寒々として冬の気配がしのび寄る季節になりました。さすがに朝夕はぐっと冷え込み、布団から手足などを出したたりしていると冷たく感じる事もあります。いつの間にか、夜寒が身にしみる様になりましたが、皆様風邪などひいたりなさっていませんか？やはりこんな時は、健康の為に何か運動などやられたらいかがでしょうか。又、何か良い健康法でもあれば記事に載せてみたいと思います。

さて今回は、森松野球部初の二連勝という大きなニュースがあり、大々的にとまではいきませんが、報告を兼ねて載せてみました。これも皆様の応援のおかげだと思っております。来月号も何かビッグなニュースがあれば報告したいと思っておりますので楽しみに御待ち下さい。

富田美千代



編集発行者

森松株式会社

発行責任者

橋本正子

昭和61年11月1日

第 17号